



2019年11月7日発行 会報第994号

今週のプログラム

(2019年11月7日 第994回例会)

「国際奉仕・財団・米山フォーラム」

担当：水本・岸上・山本(友)各委員長

次週のプログラム

(2019年11月14日 第995回例会)

「留学生との交流会」

担当：野崎国際交流委員長(代行 藤田会員)

第993回例会 (2019年10月31日) の記録

<会長の時間>

木下 健治会長

皆様、こんばんは。10月24日に山田会員のお母様がお亡くなりになりました。山田会員のお母様のご冥福を心よりお祈り致します。今日は高尾会員の卓話ですが、大阪市議会議員 荒木幹男様に卓話をお願いするとの事で、荒木様、本日はよろしくお祈り致します。先週末は、仙台に行く予定にしていたのですが悪天候の為、大阪→仙台の便が欠航になりました。結局行けなかったのですが、仙台もものすごい雨だったようです。ニュースでもやっていた通り、千葉でもまた河川が氾濫して、多くの箇所が水没していました。まだ台風19号の爪痕が癒えない中、追い打ちをかけるような大雨でした。先日、藤田会員に山本加奈子さんから真備町やラオスでのボランティアの報告書が送られてきました。それを拝見すると、床上まで浸水した住宅の清掃を学生たちと一緒にされていました。私達も歯ブラシをたくさん送らせてもらったので、有効に使って頂けたことと思います。住宅2件を担当されていたそうですが、本当に地道な活動です。壁を剥がしたり、床を磨いたり、本当に時間をかけてリフォームをされていました。これを見るとボランティアの数が足りていたのだろうかと思います。継続的にこの3月までされていたようですが、継続的に続けていたボランティアもどれくらいいるのか、わかりません。そんな中で住民の方々とのおふれあい、完成後には本当に感謝されていたので、一緒になって活動するという事は、なかなかできることではないですし、すごいことだと思いました。担当された美容室が被災1年後に新装オープンされたことは本当に嬉しかったことと思います。その後はラオスにも行かれて、ラオスも大雨で唯一の幹線道路の橋が崩落して、フェリーで行き来していたそうです。水を村に引いていたパイプも流され、これを支援することに決められました。ただ、橋がないので物資もなかなか来ず、この9月にやっとパイプも完成したそうです。またずっと支援が続けられている聾唖学校にはピエロにきてもらって、子供たちは最高の笑顔だったようです。私たちのラオス基金が、加奈子さんを通して役に立てて本当に嬉しいです。

<お客様> 大阪市議員 荒木 幹男様

<出席報告> 水島 洋 出席担当
会員数 (内出席免除会員 1 名) 19 名

本日の出席者数 (内免除会員 1 名) 14 名
(内名誉会員 0 名)

本日の出席率 73.68%

<ロータリーソング> 全会員
♪日も風も星も♪

<ピアノ演奏> 近藤美里さん
1. やさしい風
2. サバの女王
3. Hero

<幹事報告> 渡邊 了允幹事

1. 山本加奈子様より 2018 年から 2019 年の『ラオス&真備 活動報告』が届きましたので、回覧致します。
2. 米山奨学生 関西学友会の冊子が届きましたので、回覧致します。
3. 第 2 四半期会費納入期限は本日までとなっております。
未納の方は、至急お振り込みをよろしくお願い致します。

<ロータリー財団 寄付表彰>

第 5 回 マルチプルポールハリスフェロー 松田 親男会員
第 1 回 マルチプルポールハリスフェロー 木下 健治会員



<SAA 報告>

松田 親男副 SAA

※スマイルボックス

柳原会員 今年もあと2ヶ月です。

岸上会員、西本（明）会員、西本（詩）会員、渡邊会員 コメントなし

※ロータリー財団

高尾会員 荒木先生、本日はよろしく申し上げます。

岸上会員 コメントなし

※米山記念奨学会

松田会員 西本詩子会員 会報御苦勞様でした。

西本（詩）会員 オリーブの実が色づきおいしそうになりました。でも苦い！！

岸上会員、相原会員、高尾会員、西本（明）会員 コメントなし

※ラオス基金

柳原会員 11月は、小山さんと釣りに行って来ます。

木下会員 正倉院展、今年もよかったですよ。

※メイプル基金

山本（友）会員 エリカさん、一つ目の大学合格です。おめでとう。

西本（詩）会員 皆様のお陰で会報を終える事が出来ました。

柳原会員 ガシラ釣りに行きます。

西本（明）会員 秋も深まりました。

木下会員 荒木様、今日はよろしくお願ひ致します。

水本会員 朝の散歩がづらくなってきました。

水島会員 高尾会員、卓話よろしくお願ひ致します。

渡邊会員、岸上会員、高尾会員 コメントなし



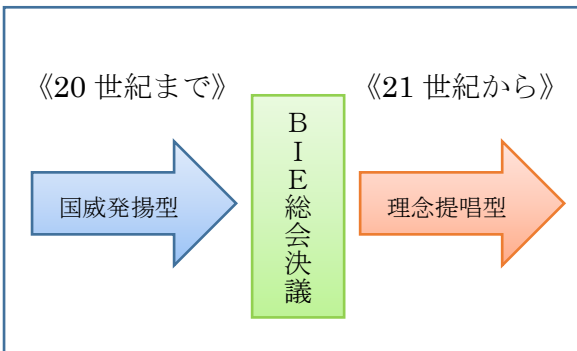
【大阪万博】

万博とは…世界中の人々が参加する国家プロジェクト

〔人類共通の課題を解決する場〕

20 世紀までは、国の威信をかけて行う「国威発揚型」の万博が主でしたが、1994 年の BIE 総会決議により、人類共通の課題の解決策を提示しようという「理念提唱型」に変化しました。

条約に基づく国際博覧会は 2 種類あり、2025 年大阪で開催されるのは大規模な「登録博覧会」です。



| 国際博覧会条約に基づく 2 種類の国際博覧会 | |
|---|---|
| 登録博覧会 【大規模博覧会】 ・ 5 年に 1 回開催 ・ 期間は 6 か月以内 | 認定博覧会 【小規模博覧会】 ・ 2 回の登録簿の間に 1 回開催 ・ 期間は 3 か月以内 |

【略称】大阪・関西万博

◆テーマ 「いのち輝く未来社会のデザイン」

◆コンセプト 未来社会の実験場

- ・開催期間(予定) 2025 年 5 月 3 日～11 月 3 日(185 日間)
- ・入場者(想定) 約 2,800 万人
- ・開催場所 夢洲(大阪市臨海部) 155ha
- ・アクセス 地下鉄中央線の延伸計画、主要駅からのシャトルバス運行 等
- ・開催経費 <会場建設費>1,250 億円(想定) <運営費>820 億円(想定)
- ・経済波及効果(経産省試算) 約 2 兆円(建設費約 0.4 兆円、運営費約 0.5 兆円、消費支出約 1.1 兆円)

大阪・関西万博は、国連が掲げる「持続可能な開発目標(SDG s)」達成への貢献を目指しています。会場は、あえて中心を作らない離散型のデザインで、多様性の中から生まれる調和と共想によって形成される未来社会を表現しています。



【IR】

人口減少・高齢化社会が進む中、大きなニーズと将来性がある IR を基幹産業とすることが、大阪のさらなる成長につながります。大阪・関西は豊富な観光資源があり、人口・経済規模が大きく、交通インフラも充実しています。この関西のポテンシャルを最大限活用し、大阪に、IR を核とした国際観光拠点形成することを目指しています。

■ 夢洲のポテンシャル

都心隣接の広大な地で、海上を活かした非日常空間が創出できます。都心や空港との高速道路が整備される等、西日本各地とのネットワーク形成が可能です。



■ 基本コンセプト

大阪・関西の持続的な経済成長のエンジンとなる **世界最高水準の成長型 IR**

「世界最高水準」…世界中から人・モノ・投資を呼び込み、世界の幅広い層をターゲットとする
「成長型」…常に時代の最先端となる施設・機能とサービスで変化を遂げる

1. 時間軸に沿った成長・発展…将来にわたっての持続的な成長・発展
2. 空間軸に沿った成長・波及…大阪・関西が誇る最先端技術の世界発信による広域への波及効果
3. ポテンシャルを活かした価値創出…夢洲の立地特性を活かすことによる新たな価値創出

■ 大阪 IR の想定事業モデル(概算)

| | |
|----------|--------------|
| ・敷地面積 | 約 60ha |
| ・投資規模 | 9,300 億円 |
| ・施設規模 | 総延床面積 100 万㎡ |
| ・年間来場者数 | 1,500 万人/年 |
| ・年間延利用者数 | 2,480 万人/年 |
| ・年間売上 | 4,800 億円/年 |



■ 大阪 IR が有すべき機能・施設

1. 世界水準のオールインワン MICE 拠点の形成 <国際会議場施設及び展示等施設>
2. 魅力の創造・発信拠点の形成 <魅力増進施設>
3. 日本観光のゲートウェイの形成 <送客施設>
4. 利用者需要の高度化・多様化に対応した宿泊施設の整備 <宿泊施設>
5. オンリーワンのエンターテインメント拠点、リゾート空間の創出

<編集後記・追加情報・ チョット一言・ライブラリー・ etc >

(文責：高尾 修)